

平成23年 5月20日

東日本大震災復興構想会議
委員 岩手県知事 達増 拓也 殿

国立大学法人 岩手大学長 藤井 克己



中国地域産学官連携コンソーシアム
代表理事 国立大学法人 岡山大学長 森田 潔



東日本大震災復興構想にあたって（提言）

このたびの東北地方太平洋沖地震で亡くなられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された地域の皆様ならびに関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、この未曾有の震災からの復興に向け、中国地域の国公立大学、高等専門学校、中国地域の官公庁及び産業支援団体等で構成する「中国地域産学官連携コンソーシアム：通称さんさんコンソ」は、東日本大震災復興プロジェクトを立ち上げるとともに、被災地の岩手大学との連携により、東日本大震災からの復興へ向けて、早急に取り組むべき課題をとりまめましたので、以下のとおり提言いたします。

記

- 1 被災地での廃棄物処理等に関連した雇用確保の推進
崩壊家屋や流木など、木質系バイオマス資源の活用の観点から、がれき処理を有意義に進めると共に、崩壊家屋や流木を用いた木質系バイオマス活用事業を実施する。
- 2 被災地の土壌・海洋汚染対策の推進
国が被災した地域を一時借り上げ、土壌汚染ならびに海洋汚染回復事業を実施する。具体的には、農業従事者、漁業従事者を雇用し、大学研究者等との連携にて、ファイトレメディエーションの実施や、港湾や海岸地帯の生産性回復のための海藻育生、藻場形成事業を実施する。
- 3 長期的視野に立った、森林系バイオマス活用事業の形成
崩壊家屋や流木を用いた木質系バイオマス活用事業を発展させ、森林系バイオマスによる電力・熱供給事業、有価物生産などを実施する。具体的には、健全な森は健全な海を育てることを念頭に、素材生産業者を仲介とした、バイオマス系燃料や材料の国内流通の仕組みを確立し、国内林業と漁業の活性化に繋げる。

以上